



追加型投信 / 内外 / 債券

三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(毎月決算型)

<愛称:グローバル・トップ>

決算・分配金のお知らせ

ファンド情報提供資料
データ基準日:2022年5月20日

平素より、「三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(毎月決算型)<愛称:グローバル・トップ>」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは2022年5月20日に決算を迎え、現在の分配原資(分配対象額)の状況に加え、基準価額水準や市況動向等を総合的に勘案して、当期の分配金(1万口当たり、税引前)を前期の20円から10円に引き下げたことをご報告いたします。当レポートでは、分配金引き下げの背景や運用状況、今後の市場環境の見通し等についてご説明させていただきます。

分配金と基準価額 (2022年5月20日)

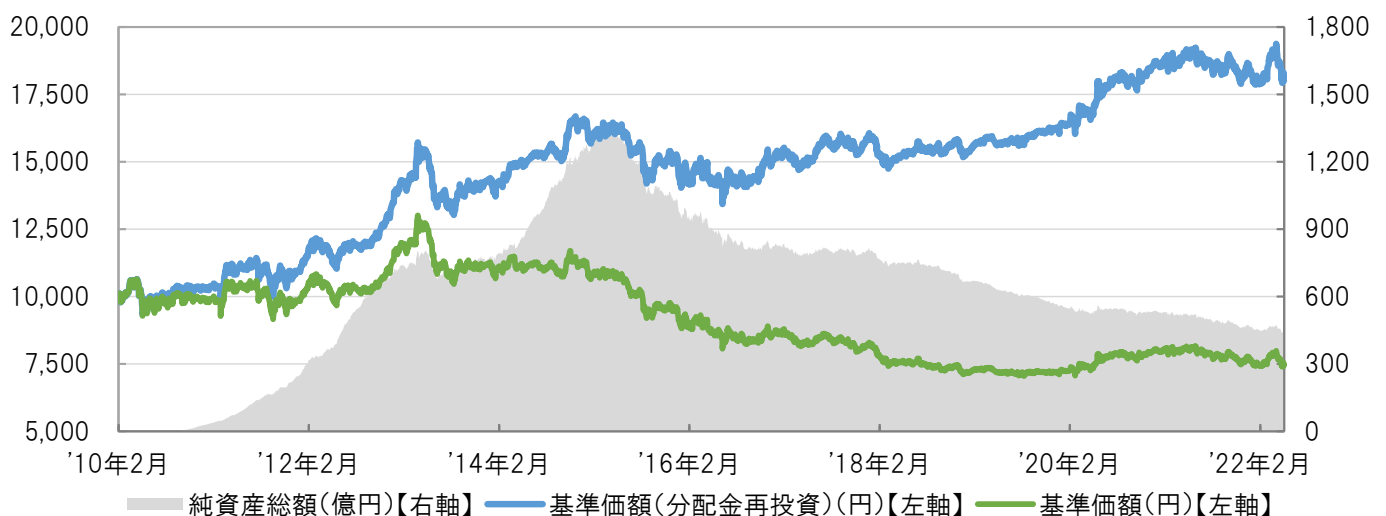
分配金(1万口当たり、税引前)	10円
基準価額(1万口当たり、分配落ち後)	7,467円

【分配金実績(1万口当たり、税引前)】

第143期 (2022年1月)	第144期 (2022年2月)	第145期 (2022年3月)	第146期 (2022年4月)	第147期 (2022年5月)	設定来累計
20円	20円	20円	20円	10円	8,340円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

設定来の基準価額等の推移 (期間:2010年2月18日(設定日)~2022年5月20日)



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(毎月決算型)〈愛称:グローバル・トップ〉

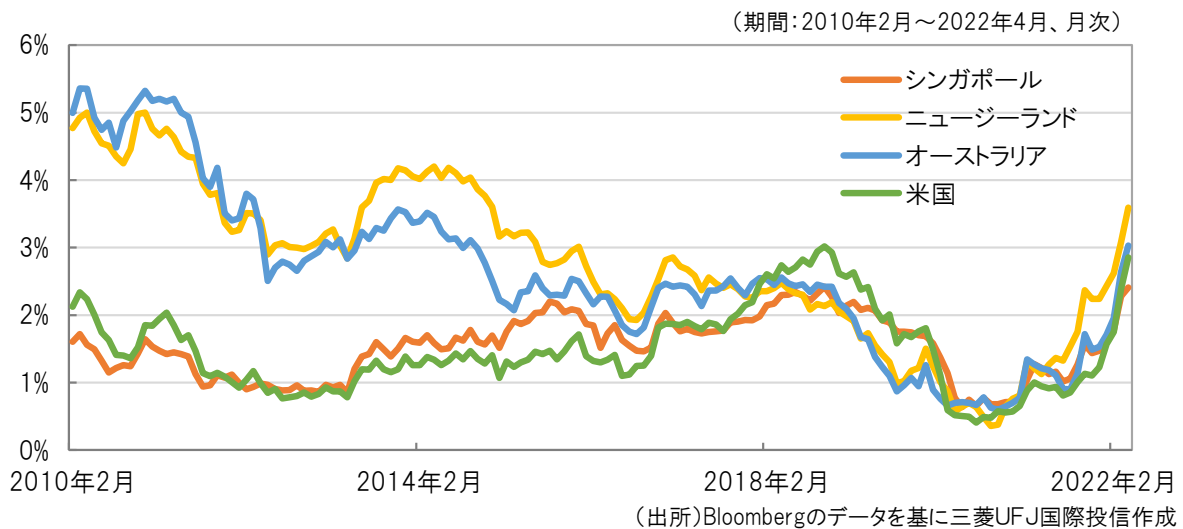
分配金を引き下げた背景

当ファンドは、世界主要国の債券を実質的な主要投資対象とし、信用力が高く、かつ相対的に利回りが高い国の債券に投資することにより、利子収益の獲得をめざして運用しています。当ファンドの分配金(1万口当たり、税引前)は、2019年12月より20円を継続してまいりました。

先進国の債券市場を見ると、多くの先進国の債券利回りは2022年に入り上昇ピッチを速めているものの、それまでは長期にわたり低下傾向が続き、当ファンドの利子収入は低水準の状況が続きました。

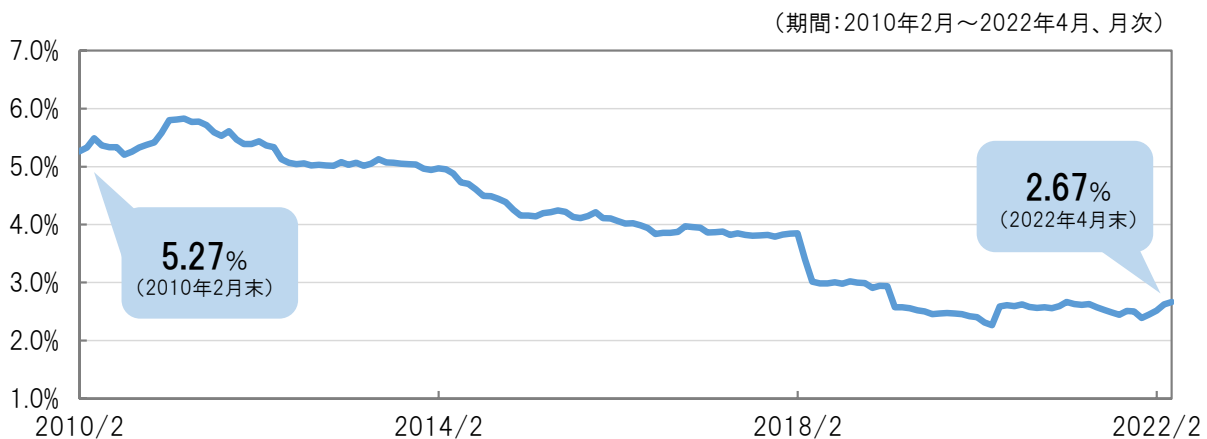
このような状況は分配金の支払いと合わせて分配対象額の減少要因となりました。分配金に関しては安定的な分配をめざしておりますが、今後も安定的な分配を継続し信託財産の成長をめざしていくためには、分配金を引き下げる必要があると判断いたしました。

(ご参考) 主な先進国の国債利回りの推移



・上記の主な先進国は、直近10年間(2012年4月末~2022年4月末)に当ファンドが組み入れた国としています。・上記は、指数を使用しています。指数については「本資料で使用している指数について」をご覧ください。・国債利回りは、各指数の国別最終利回りです。

当ファンドの直接利回りの推移



・利回りは、組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。直接利回りとは、個別債券等についての債券価格に対する受取利息の割合を示しています。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(毎月決算型)〈愛称:グローバル・トップ〉

過去1年間の分配対象額等の推移

(単位:円、1万口当たり、税込み)

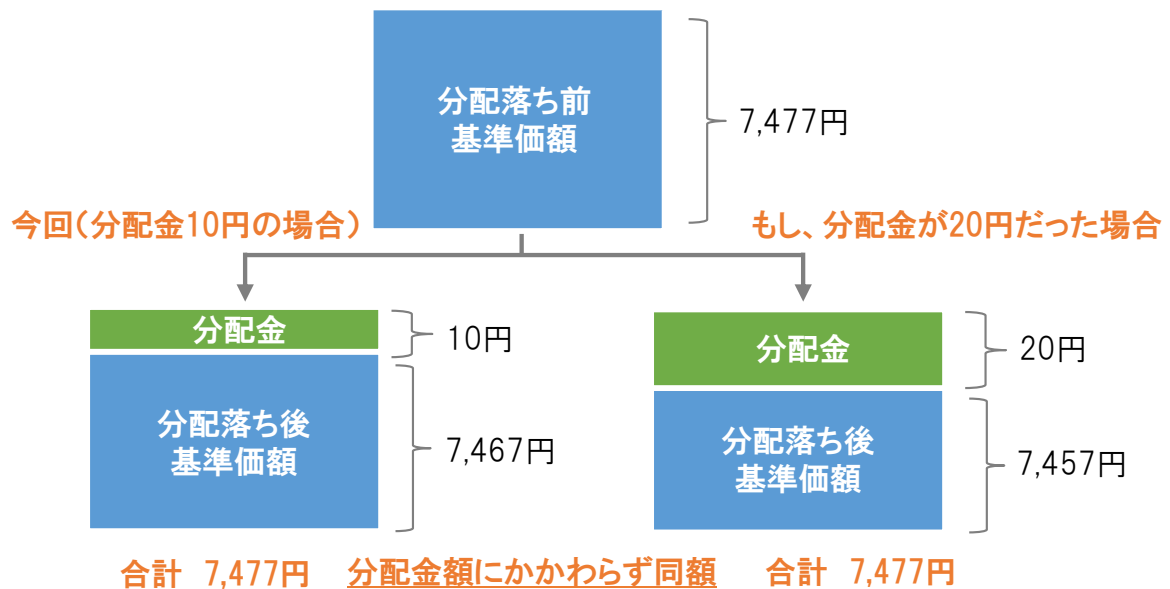
(年/月)	第135期 (' 21/5)	第136期 (' 21/6)	第137期 (' 21/7)	第138期 (' 21/8)	第139期 (' 21/9)
①当期分配金	20円	20円	20円	20円	20円
②当期の収益	9円	9円	8円	8円	12円
③当期の収益以外	10円	11円	11円	12円	8円
④翌期繰越分配対象額	343円	333円	321円	309円	301円

(年/月)	第140期 (' 21/10)	第141期 (' 21/11)	第142期 (' 21/12)	第143期 (' 22/1)	第144期 (' 22/2)	第145期 (' 22/3)	第146期 (' 22/4)
①	20円	20円	20円	20円	20円	20円	20円
②	14円	8円	7円	7円	8円	15円	19円
③	5円	11円	13円	12円	12円	5円	0円
④	296円	285円	273円	260円	248円	244円	295円

・「②当期の収益」、「③当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「①当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※上記は速報値を含みます。そのため今後交付される運用報告書の内容と一致しない場合があります。

基準価額と分配金の関係 (第147期決算)

分配金の引き下げにともなう差額はファンドの信託財産に留保され、運用に振り向けられます。また、分配金と分配落ち後の基準価額の合計は、分配金額にかかわらず分配落ち前の基準価額と同額となります。



・上記は基準価額と分配金の関係をご説明するためのイメージ図であり、基準価額および分配金の水準を示唆するものではありません。

《分配方針について》

当ファンドでは分配方針に基づき、「毎月安定した分配を行う」ことをめざして分配金額を決定しています。したがって、可能な限り安定した分配を継続する方針です。

ただし、将来の分配金については、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。また、今後の市況動向や運用状況によっては分配金額が変更される、あるいは分配金が支払われない場合があります。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

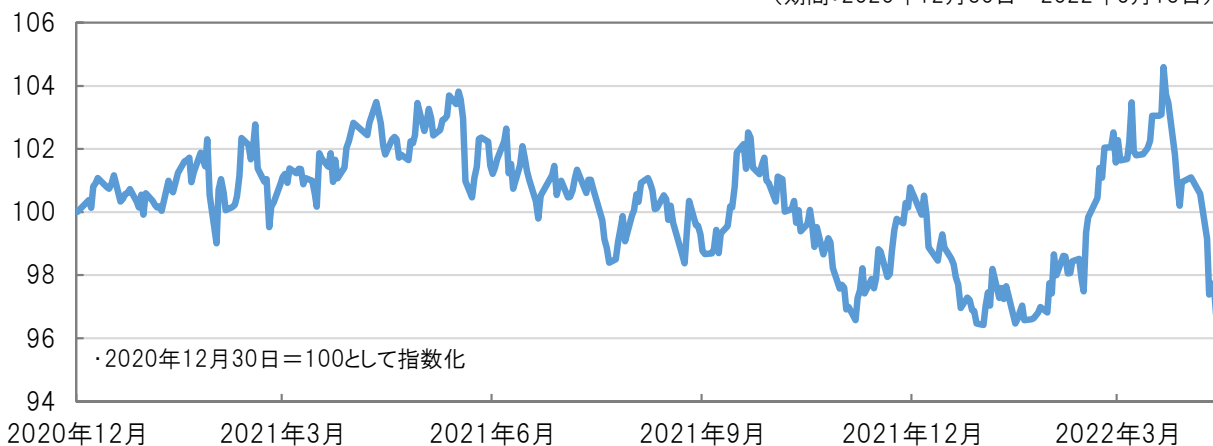
三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(毎月決算型)〈愛称:グローバル・トップ〉

当ファンドの運用状況 (2021年初～2022年5月13日)

- 当該期間を通じてみると、基準価額(分配金再投資)は下落しました。投資国の長期金利が上昇したことが主なマイナス要因となった一方で、投資国通貨が対円で上昇したことはプラス要因となりました。
- 2021年半ばにかけては、基準価額(分配金再投資)は概ねもみ合いで推移しました。その後はインフレ率上昇の懸念等から投資国の長期金利が上昇基調で推移したことがマイナス要因となった一方、投資国通貨が上下に変動しながらも対円で上昇したことなどがプラス要因となりました。

当ファンドの基準価額(分配金再投資)の推移

(期間:2020年12月30日～2022年5月13日)



・基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。

当ファンドの基準価額の変動要因(概算)

基準価額の変動要因

債券要因

- ①債券の評価差損益
 - ・金利水準が下がるとプラスの影響
 - ・金利水準が上がるとマイナスの影響
- ②債券の利子収入

為替要因

- ・対象通貨高/円安はプラスの影響
- ・対象通貨安/円高はマイナスの影響

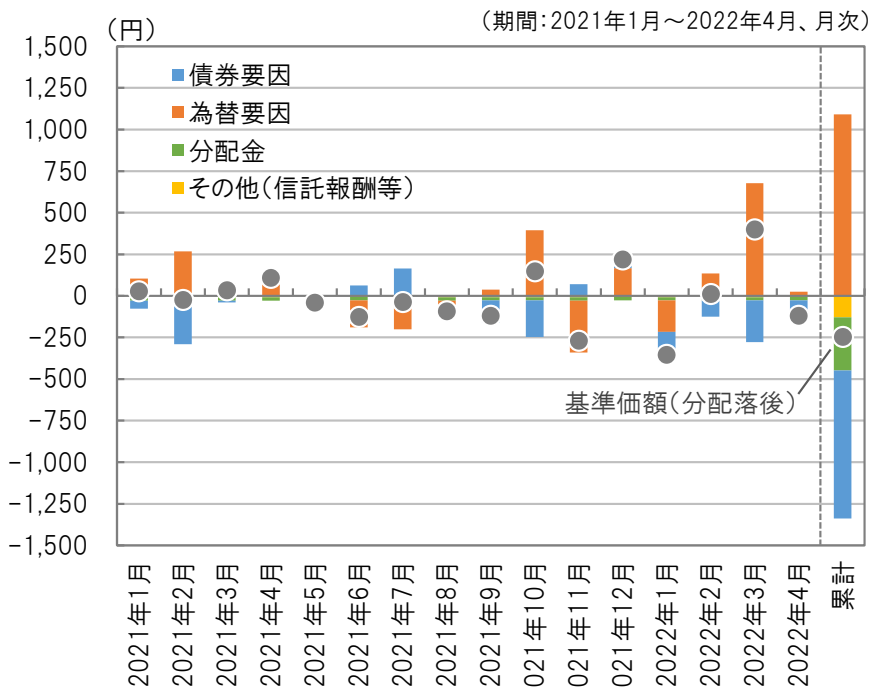
分配金

- ・分配金の支払いがマイナスの影響

その他

- ・信託報酬等の控除等がマイナスの影響

・基準価額の変動要因をご理解いただくために簡便的に記載したものであり、また全てを網羅するものではありません。



・基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

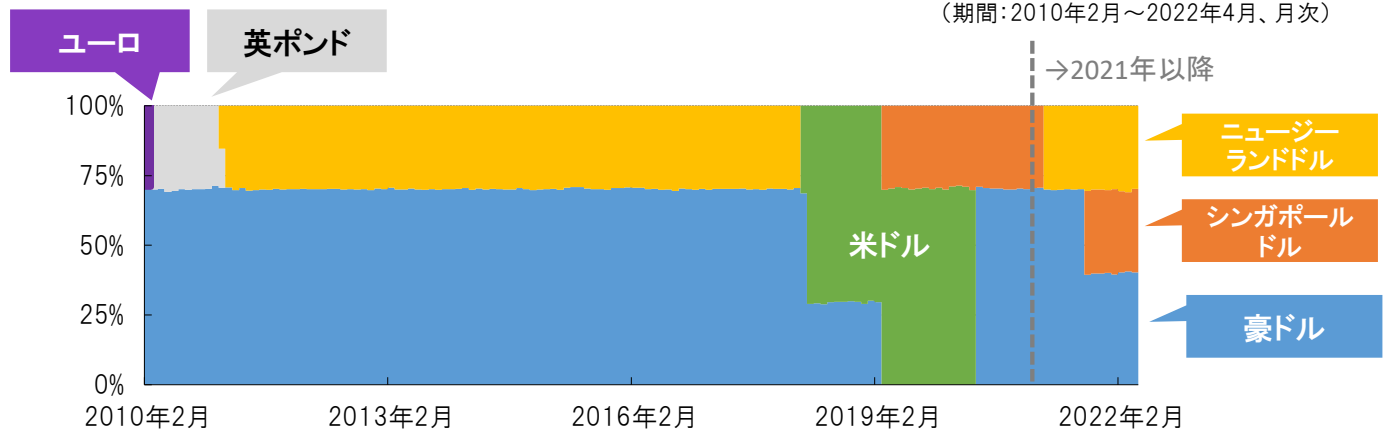
三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(毎月決算型)〈愛称:グローバル・トップ〉

当ファンドの投資国通貨の変遷

- 当ファンドでは、相対的に利回りが高い国に重点的に配分するという運用方針に則り、投資国および配分比率の見直しを行ってきました。2021年初来の投資国通貨の入れ替え状況は下記の通りです。
 - 2021年初～2021年2月：豪ドル／シンガポールドルの2通貨で運用しました。
 - 2021年3月～2021年8月：シンガポールドルをニュージーランドドルに入れ替え、豪ドル／ニュージーランドドルの2通貨で運用しました。
 - 2021年9月～2022年4月：豪ドルの一部をシンガポールドルに入れ替え、ニュージーランドとシンガポールの債券市場の流動性などを考慮し、豪ドル／ニュージーランドドル／シンガポールドルの3通貨で運用しました。

【ご参考】 マザーファンドの投資国通貨の変遷

(期間:2010年2月～2022年4月、月次)



・比率は現物債券評価額に対する割合です。上記は、当ファンドが投資するマザーファンド「三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド」の運用実績であり当ファンドの運用実績ではありません。(マザーファンドでは信託報酬はかかりません)

今後の当ファンドの運用方針(2022年5月13日時点)

- 引き続き、三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高いと判断した国の債券を高位に組み入れる運用を行います。
- 上記商品性に基づき、投資国の見直しを検討しています。

・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見直し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(毎月決算型)〈愛称:グローバル・トップ〉

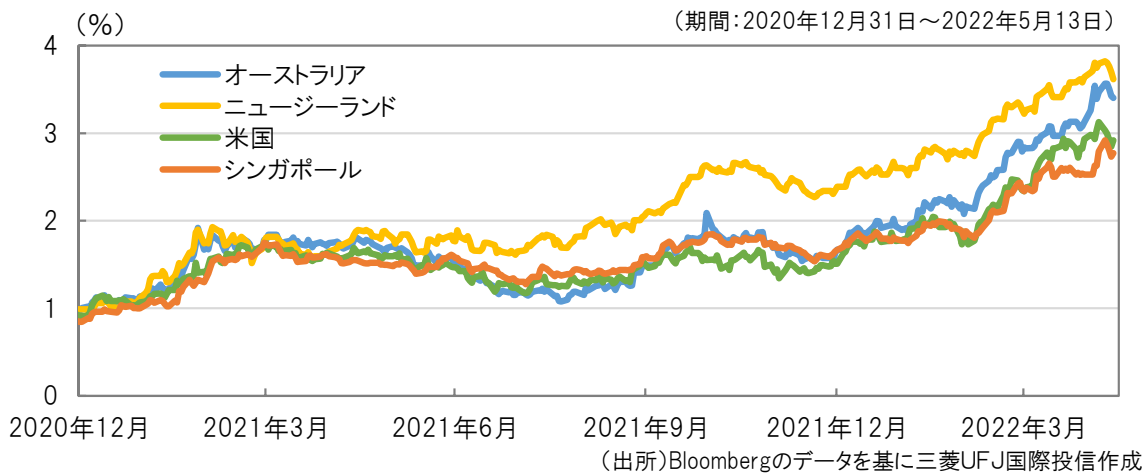
以下では、当ファンドの基準価額の主な変動要因となる「債券」と「為替」の2点に分けて、2021年初来の投資環境と今後の見通しについてご説明いたします。

債券

投資環境（2021年初～2022年5月13日）

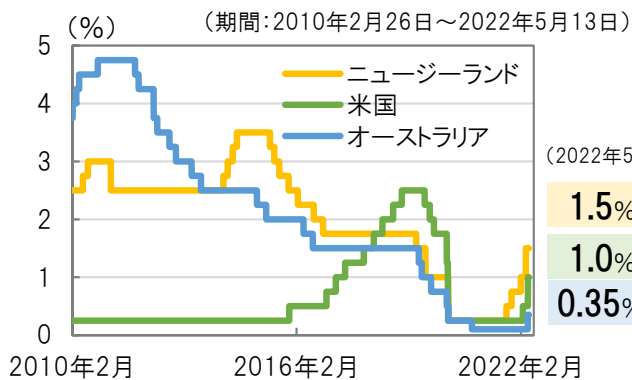
- 米国および当該期間に当ファンドが投資した国（オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール）の長期金利は、概ね上昇基調で推移しました。
- 上記長期金利が上昇した背景として、米国ではバイデン政権による大規模な追加経済対策、供給制約の長期化、ロシアのウクライナ侵攻などを背景とした商品価格の上昇等を受けて、世界的にインフレ圧力が高まったことや、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）からの経済再開に伴い労働市場が改善し失業率が低下した結果、金融政策正常化の前倒し観測が高まったことなどがありました。

10年国債の利回りの推移



投資国の金融政策（2022年5月13日時点）

〈政策金利の推移〉



- **シンガポール**: 2021年10月以降、金融引き締めを実施
※シンガポールの金融政策: シンガポールの中央銀行にあたるシンガポール金融通貨庁(MAS)は、政策金利を変更する代わりに、自国通貨の名目実効為替レートの誘導目標を定める金融政策を採用
- **ニュージーランド**: 2021年10月以降、4会合連続で政策金利の引き上げを実施
- **オーストラリア**: 2020年11月～2022年4月まで0.1%を維持してきましたが、2022年5月3日に0.25ポイント引き上げ0.35%とすることを決定

今後の見通し（2022年5月13日時点）

- 先進国各国ではインフレ率が各国中央銀行の目標とする水準を上回り続ける中、インフレ抑制のために今後も政策金利の引き上げが継続される見込みです。
- 市場参加者による利上げ織り込みも相応に進んでいることから、更なる利上げ織り込みの余地は減少しつつあると考えています。
- 今後のインフレ動向次第ではあるものの、当面、投資国の金利はレンジ内でもみ合う展開を想定します。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(毎月決算型)〈愛称:グローバル・トップ〉

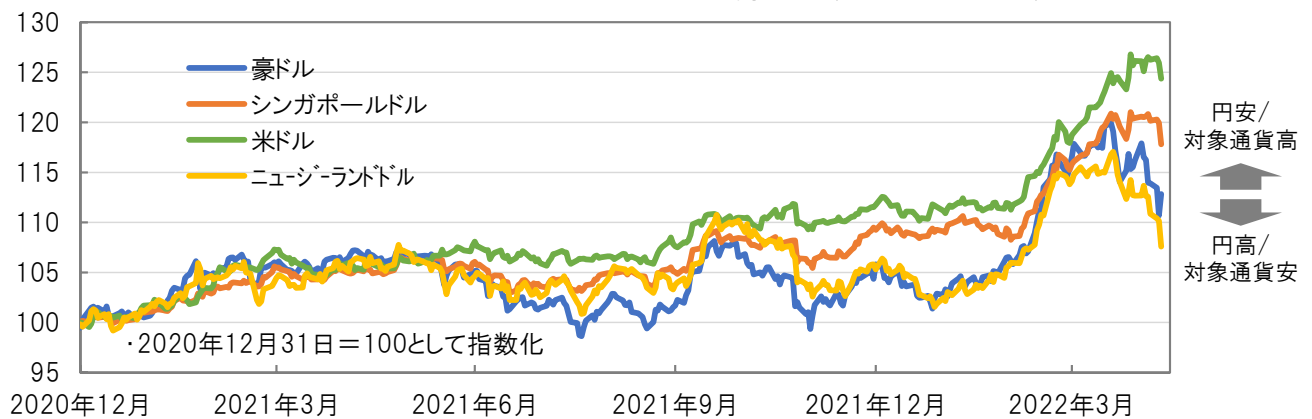
為替

投資環境 (2021年初～2022年5月13日)

- 当該期間において、投資国通貨は対円で下落する局面もみられましたが、概ね上昇基調で推移しました。
- 2021年3月にかけては、バイデン政権の追加経済対策などを受けて、投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから、投資国通貨は対円で上昇しました。
- その後は、新型コロナの変異株の感染が拡大した局面では、投資国通貨は対円で一時的に下落することもありましたが、2022年2月にかけて対円で概ね横ばいから上昇基調で推移しました。
- 2022年3月以降は、日銀が緩和的な金融政策を維持する中、米国をはじめとした先進国各国の中央銀行による利上げ観測が高まったことを受けて、本邦との金利差が拡大したことが円安/投資国通貨高材料になりましたが、豪ドル、ニュージーランドドルはその後反落しました。

為替レート(対円)の推移

(期間:2020年12月31日～2022年5月13日)



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

今後の見通し (2022年5月13日時点)

- 各国中央銀行の金融引き締めによる景気減速懸念や中国のロックダウンによる世界経済への影響など、不透明要因によって投資家のリスクセンチメントは変わりやすい状況です。
- 世界的にインフレ高騰が続き、各国中央銀行が金融政策の正常化を進める中でも、日銀は緩和的な金融政策を当面維持する見込みです。
- 投資国と日本における金融政策の方向性の違いは引き続き、投資国通貨の対円でのサポート要因と考えられ、投資国通貨はボラティル(価格の変動率が高まっている状況)ながらも対円で底堅い推移を想定しています。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

【本資料で使用している指数について】

■FTSE世界国債インデックスの国別指数(米国、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール)を使用

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ(<https://www.am.mufg.jp/other/disclaimer.html>)を合わせてご確認ください。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託から分配金が支払われるイメージ

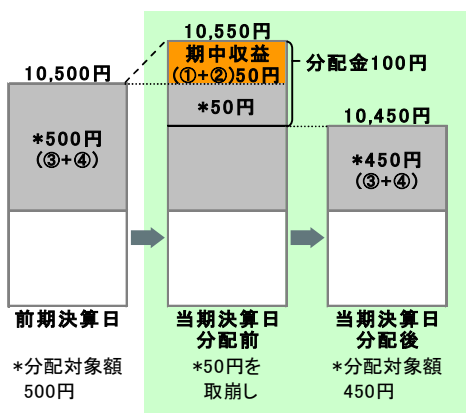


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

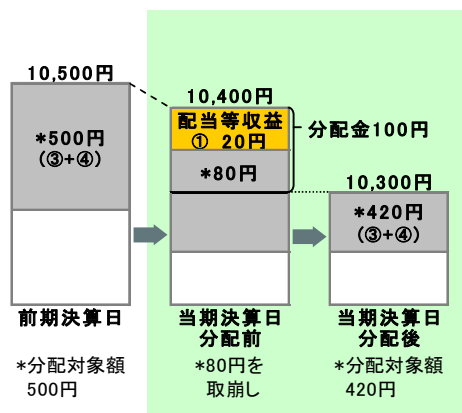
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



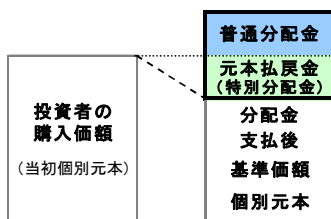
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金：当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金：追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

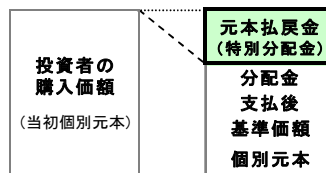
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定(購入時手数料を含む場合と含まない場合があります)、口数指定のいずれかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

[金額を指定して購入する場合](購入時手数料を含む場合)

例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

[口数を指定して購入する場合]

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくことになります。

三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(毎月決算型) (愛称:グローバル・トップ)

追加型投信/内外/債券

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

世界主要国の債券を実質的な主要投資対象とし、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資することにより、利子収益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

特色1 信用力の高い先進国*の債券に投資を行い、利子収益の獲得をめざします。

※ファンドにおける先進国とは、原則としてFTSE世界国債インデックスの構成国、および同指数の参考国のうち、投資対象国として適切と委託会社が判断した国を指します。ただし、将来変更されることがあります。

- ・投資対象とする債券の種類は、各国の国債、政府保証債のほか、オーストラリアの州政府債および各国通貨建ての国際機関債とします。
- ・実際の運用にあたっては、「三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド」を通じて行います。
- ・実質的な組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

特色2 相対的に利回りの高い国に、重点的に配分します。

特色3 毎月の安定した分配を行うことをめざします。

- ・毎月20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。
- ・債券の利子収益や売買益(評価益を含みます。)等を原資として、毎月の決算時に安定した収益分配を行うことをめざします。また、基準価額水準によっては、一時的に分配金額を増やすことがあります。
- ・分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

■ファンドの仕組み

- ・運用は主に三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンドへの投資を通じて、世界主要国の債券へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
為替変動 リスク	組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。
信用 リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- ・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(毎月決算型)

〈愛称:グローバル・トップ〉

追加型投信/内外/債券

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位/販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位/販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・毎年復活祭(Easter Day)に該当する日の前営業日および翌営業日 ・毎年クリスマス(12月25日)および翌営業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。また、信託金の限度額に達しない場合でも、ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入の申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	無期限(2010年2月18日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限2.2%(税抜 2%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬) 日々の純資産総額に対して、**年率1.21%(税抜 年率1.1%)**をかけた額

その他の費用・手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。

なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufig.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: 三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(毎月決算型)

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社ゆうちょ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第611号	○			